

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	子育て土壌育成事業	コード	102101
-------	-----------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習課	作成者 高山 理恵
--------	--------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	生涯学習の推進	施 策	青少年の健全育成
		予算科目	子育て土壌育成事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	子どもと親が共に成長するため、地域住民や関係団体等が協力し、話し合いを行い、係りあう中で、お互いに支えあって子育てが出来る「子育て土壌づくり」の推進を図る。			
目的	対象者	乳幼児、親		
	意 図	安心して子育てが出来る「子育て土壌づくり」の推進		

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>地域子（己）育てサポーター連絡協議会 区長から推薦された地域子（己）育てサポーターが、自らの区において地域ぐるみで子育てができる土壌づくりを行うため、サポーターが一堂に会し、情報交換や資質の向上を目指し、総会、研修会、情報交換会を実施した。</p> <p>総 会 4月24日（火） 事業報告、会計報告、事業計画、予算、情報交換 第1回情報交換会 6月29日（金） 研修会、情報交換会 第2回情報交換会 11月10日（土） 県の健全育成大会への参加 第3回情報交換会 3月8日（金） 活動報告、情報交換</p> <p>乳幼児親子ふれあいの集い</p>				
前年度の課題への対応	中学校区ごとに班分けし、経験年数の長短に関係なく、サポーターどうしが、自身の思いを含め、区での役割を自由に話す時間を設けた。他区の活動状況を知ることにより、今後の活動に幅が出ることを期待した。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	28年度	29年度	30年度	31年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	地域子（己）育てミニ集会実施回数			単位	回
	実績値	621	427	404	
	*指標の説明	各地区で開催されたミニ集会回数			
② 成果指標（指標名）	地域子（己）育てミニ集会参加人数			単位	人
	目標値	20,000	20,000	20,000	20,000
	実績値	19,519	17,479	17,552	
	達成度	97.6%	87.4%	87.8%	
	*指標の説明	各地区で開催されたミニ集会回数ミニ集会に参加した人数			
*目標値の設定方法の説明	前年度実績に基づき設定				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	450,000	407,000	363,000	461,000
経常経費	450,000	407,000	363,000	461,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	1,600,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
正規職員の人数(人)	0.20	0.15	0.15	0.15
③ 合計コスト(①+②)	2,050,000	1,607,000	1,563,000	1,661,000
前年度比		78.4%	97.3%	106.3%
財源	2,050,000	1,607,000	1,563,000	1,661,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	3,301	3,763	3,869	
前年度比		114.0%	102.8%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
乳幼児親子ふれあい事業補助金	件数	29	25	23	29
	金額	450,000	407,000	363,000	461,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	450,000	407,000	363,000	461,000
	割合	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		0
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		0
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

低い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。		0
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 100.4%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 87.8%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <p>具体的で、統一的な活動内容が無く、各地区における子(己)育て支援の活動に協力することが、サポーターとしての仕事と位置づけられている。認知度も低く、サポーターの任期も1年で継続性に乏しい。 乳幼児親子ふれあいの集いは、平成11年から継続して全区で活動がなされており、区においても、ある程度認知され評価されている。 こどものくに等、子育て支援の公的拠点ができただ事等も含め、時代の変化にあった見直しが必要。</p>	
	<p>(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>改善方法 岡谷市地域子(己)育てサポーター連絡協議会は、協議会としてのあり方検討を実施し、2019年11月末までには、一定の方向を見出したい。 乳幼児親子ふれあいの集いは、21区に存在しており、区における評価も高いため、更生保護女性会の協力を得て継続する方向で検討したい。</p>	
	改善開始時期	2019年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---